



プログラム



第1部

1 仲田 ちよ子 *Chiyoko NAKATA (Sop.)* 水村 香代子 *Kayoko MIZUMURA (Pf.)*

浜千鳥 …………… The Song of A Lost Tiny Shore Bird

弘田龍太郎 Hirota〔詩〕鹿島鳴秋 Kajima

ヴォカリーズ …………… Vocalise ラフマニノフ Rachmaninoff 〈他〉

2 五十嵐 滋 *Shigeru IGARASHI(Ten.)* 横山 美恵 *Yoshie YOKOYAMA (Pf.)*

—————詩人の恋 Dichterliebe (Op. 48) より—————

ラインの聖なる流れに …………… Im Rhein, im heiligen Strome

恨みはしない …………… Ich grolle nicht

小さな花がわかってくれたら …………… Und wüßten's die Blumen, die kleinen

シューマン Schumann〔詩〕ハイネ Heine

ジョスランの子守唄…………… Berceuse de Jocelyn

ゴダール Godard〔詩〕ラマルティーヌ Lamartine〔訳〕近藤朔風 Kondo

3 海老澤 里帆 *Riho EBISAWA (Fl.)* 金子 裕子 *Yuko KANEKO (Pf.)*

フルートソナタへ短調 …………… Flöte Sonate f-moll テレマン Telemann

1. Triste

2. Allegro

3. Andante

4. Vivace

4 梁取 美智雄 *Michio YANADORI (Bar.)* 脇 郁香里 *Yukari KADOWAKI (Pf.)*

鱒 …………… Die Forelle シューベルト Schubert

カミニート(小径) …………… Caminito

フィリベルト〔詩〕ベニャローサ Peñaloza〔訳〕新町実 Shinmachi 〈他〉

5 加瀬 和子 *Kazuko KASE (Sop.)* 小松澤 恭子 *Kyoko KOMATSUZAWA (Pf.)*

—————愛唱歌 My favorite songs より—————

～ ゲスト演奏 ～

6 佐藤 宏之 *Hiroyuki SATO (Bar.)* 水村 香代子 *Kayoko MIZUMURA (Pf.)*

| | | |
|--------------------|---------------|--------------|
| 妖精の瞳 …………… | Occhi di Fata | デンツァ Denza |
| 可愛い口もと …………… | 'A vucchellaa | トスティ Tosti |
| オーソレミオ(私の太陽) …………… | O sole mio | カプア Di Capua |



第2部

7 岡野 雅代 *Masayo OKANO (Sop.)* 横山 美恵 *Yoshie YOKOYAMA (Pf.)*

—————愛唱歌 My favorite songs より—————

8 鈴木 勝英 *Katsuhide SUZUKI (Bar.)* 佐藤 琴絵 *Kotoe SATO (Pf.)*

| | | |
|---------------|----------------------------------|-------------------------------|
| 秋の日 …………… | (An autumn day) | 武子剛二 Takesi [詩]高丸多賀子 Takamaru |
| 麗しのアマリリ …………… | Amarilli, mia, bella | |
| | カッチーニ G.Caccini [詩]グアリーニ Guarini | 〈他〉 |

9 細貝 知香 *Tomoka HOSHOGAI (Sop.)* 水村 香代子 *Kayoko MIZUMURA (Pf.)*

—————歌劇ラ・ワリー La Wally より—————

| | | |
|------------------|-------------------------|----------------|
| さようなら故郷の家よ …………… | Ebben, ne andro lontana | カタラーニ Catalani |
|------------------|-------------------------|----------------|

—————歌劇 カルメン Carmen より—————

| | | |
|-----------------------|---------------------------------|-----------|
| 何を恐れることがありましょうか …………… | Je dis que rien ne m' épouvante | ビゼー Bizet |
|-----------------------|---------------------------------|-----------|

10 吉原 牧子 *Makiko Yoshihara (Vn.)* 大越 裕美 *Hiromi OKOSHI (Pf.)*

| | | |
|---------------|----------------------|----------------|
| カルメン幻想曲 …………… | Fantaisie sur Carmen | サラサーテ Sarasate |
|---------------|----------------------|----------------|

序曲 Allegro Moderato

第1曲 Moderato

第3曲 Allegro moderato

第4曲 Moderato

11 尾張 直美 *Naomi OWARI (Mez.)* 水村 香代子 *Kayoko MZUMURA (Pf.)*

—————歌劇 ラ・ボエーム *La Bohème* より—————

私の名はミミ …………… *Mi chiamano Mimi* プッチーニ *Puccini*

—————歌劇 蝶々夫人 *Madama Butterfly* より—————

ある晴れた日に …………… *Un bel di, vedremo* プッチーニ *Puccini*

12 志賀 真理恵 *Marie SHIGA (Sop.)* 小松澤 恭子 *Kyoko KOMATSUZAWA (Pf.)*

—————歌劇 ラ・ボエーム *La Bohème* より—————

私が街を歩けば …………… *Quando me' n vò* プッチーニ *Puccini* 〈他〉



第3部

13 伊藤 美由紀 *Miyuki ITO* — 大越 裕美 *Hiromi OKOSHI (Pf. Duo)*

舞踏会の美女 …………… *Belle of the Ball* アンダーソン *Anderson*

愛の悲しみ …………… *Liebesleid* クライスラー *Kreisler*

「はかなき人生」よりスペイン舞曲第1番 …… *Danse Espagnole, No. 1* ファリャ *Falla*

14 位高 優 *Yu ITAKA (Ten.)* 水村 香代子 *Kayoko MIZUMURA (Pf.)*

—————オラトリオ「メサイア」*Messiah* より—————

シオンの娘よ、大いに喜べ …………… *Rejoice greatly, O daughter of Zion*

おまえは鉄のつえをもって …………… *Thou shalt break them* ヘンデル *Handel*

—————歌劇 トスカ *Tosca* より—————

星は光りぬ …………… *E lucevan le stelle* プッチーニ *Puccini*

15 沢木 美恵子 *Mieko SAWAKI (Sop.)* 中山 修伍 *Shugo NAKAYAMA (Pf.)*

薔薇 …………… *Rosa* トスティ *Tosti*

—————歌劇 ラ・ワリー *La Wally* より—————

さようなら故郷の家よ …………… *Ebben, ne andro lontana* カタラーニ *Catalani* 〈他〉

16 橋本 拳暁 *Takaaki HASHIMOTO (Bar.)* 水村 香代子 *Kayoko MIZUMURA (Pf.)*

—————歌劇 ドン・カルロ *Don Carlo* より—————

彼女は私を愛したことがない …………… *Ella giammai m'amò* ヴェルディ *Verdi*

17 小松崎 裕子 *Yuko KOMATSUZAKI (Mez.)* 水村 香代子 *Kayoko MIZUMURA (Pf.)*

————— 歌劇 ドン・カルロ Don Carlo より —————

むごい運命 …………… O don fatal ヴェルディ Verdi

————— 歌劇 アンドレア・シェニエ Andrea Chénier より —————

亡くなった母を …………… La mamma morta ジョルダノー Giordano

18 池田 由紀子 *Yukiko IKEDA (Sop.)* 門脇 郁香里 *Yukari KADOWAKI (Pf.)*

————— 歌劇 ジュリオ・チェーザレ(ジュリアス・シーザー) Giulio Cesare より —————

このように、ただ一日のうちに ～ 私はわが運命を嘆くでしょう

…………… E pur così un giorno ～ Piangerò la sorte mia

嵐の海で難破した小舟は …………… Da tempeste il legno in franto ヘンデル Handel

～ ゲスト演奏 ～

19 佐藤 宏之 *Hiroyuki SATO (Bar.)* 水村 香代子 *Kayoko MIZUMURA (Pf.)*

————— 日本歌曲より Japanese songs —————

この道 …………… This Path 山田耕筰 Yamada [詩]北原白秋 Hakushu (Kitahara) 〈他〉

帰れソレントへ …………… Torna a Surriento クルティス De Curtis 〈他〉



全員演奏

皆様もご一緒にお歌い下さいますように。



出演者からご挨拶

第6回ソロフェスタに御来聴くださりましてありがとうございます。今回はゲストシンガーとして佐藤宏之先生をお招きしたことをはじめとして、何人もの男声、女声シンガーと器楽演奏家が新たに出場され、従来にも増して充実した音楽会になりました。それだけ長時間の演奏会になりますが、プログラムは出来るだけ飽きたりお聴き疲れしたりすることが少ないように工夫して編成して有ります。

内容は、音大を出られた方もアマチュアの方もそれぞれの立場から研鑽を積み、今日も一つ一つの曲と自分のステージ全体で何を表現するか考えて臨んでおりますから、皆様も、その演奏意図の一片を感じて下されば、技量差は別として、大いにお楽しみいただけることと思います。

つくばソロ連絡会代表 五十嵐 滋 ・ 出演者一同



曲目解説と演奏者プロフィール

(演奏順)



第1部

1 仲田 ちよ子(ソプラノ)

浜千鳥

作曲者が28歳(大正9年)、東京音楽学校助教授であったときの作品。曲は、浜千鳥が月夜の海岸を遊飛するさまを、3拍子という優美な拍子を用いて旋律を効果的にのせている。

ヴォカリーズ

セルゲイ・ラフマニノフの1913年出版(ソプラノまたはテノールのための14の歌曲集)の終曲。この曲をコロラトウーラソプラノのアントニーナ・ネジダーノヴァに献呈し、彼女によって初演される。歌詞のない美しく愁いを含んだ旋律は、さまざまな楽器の編曲でも親しまれている。

仲田 ちよ子 Chiyoko NAKATA (ソプラノ)

中学・高校(土浦二高合唱部)から合唱に心寄せられ、現在に至るまで、50数年歌い続けている。つくばフィル合唱団と土浦市民合唱団に所属。つくばフィル合唱団でイタリア各地への演奏旅行2回参加、土浦でのオペラ「小町」では、農民役として3回出演している。年2回『魔法使いの弟子』コンサートに出演。他、土浦・つくば各地でソロ活動をしている。声楽を若林啓代、島田佳子、佐藤あけみ各氏に師事。つくば音楽交流団体協議会(ムジカフェスタの主催機構)の役員を務めている。

水村 香代子 Kayoko Mizumura (ピアノ)

洗足学園短期大学音楽科卒業。在学中より器楽・声楽の伴奏活動を始め。ピアノを鈴木いくみ、伴奏法を前田佳世子、声楽を佐藤あけみ各氏に師事。つくばフィルハーモニー合唱団のピアニストとして経験を積む。同合唱団のセビリア(1993年)、ナポリ(2012年)演奏会の他、近年は佐藤宏之氏の演奏会などで伴奏を務める。

2 五十嵐 滋(テノール)

ラインの聖なる流れに

「詩人の恋」はハイネが男の恋愛と失恋を綴った詩集の中から、順番は変えずにシューマンが選んで曲を付け、この題名の連作歌曲に仕上げた。この曲は6曲目だが「恋愛期」の最後の曲で、ケルンの大聖

堂の片隅に掛かっている絵の女性の目、頬、唇…が恋人にそっくりだと魅入っている。なお伴奏の左手は堂内の荘重なオルガンを、右手はライン川のさざ波を表現している。

恨みはしない

「失恋期」の一曲目。恋人の裏切りに悩んでいるが、理性と感情が、音楽的にも良く織り交ぜられている。長調の失恋の曲なのが珍しい。

小さな花がわかってくれたら

ここから「失恋」定番の短調で、歌も伴奏も傷心を表している。花や星に自分の心を知ってくれと訴えるが、とうとう最後に「誰も分かってくれない。分かるのは私の心を引き裂いたあの者一人だ。」と叫ぶ。

ジョスランの子守歌

18世紀末フランス革命の荒波で山中に逃れ過酷な生活を送る聖職者ジョスランが、同名の歌劇の中で歌うアリアで、普通の子守歌とは違う悲しみと祈りの歌。原作者のラマルティエーヌは詩人で政治家だった。



五十嵐 滋 Shigeru IGARASHI (テノール)

声楽を故竹前ケイ、横山和彦両氏に、アコーディオンを故渡辺弘氏に師事、音楽理論を東京藝大旧通信課程で学ぶ。近代詩曲の会主宰、故松本紀久雄氏指揮の合唱団銀の笛を創設し成功。横浜博で「忘れな草」を歌う。男声合唱団 KO Σ MO Σ、もくせい会(ルネッサンス専門)創設メンバー。筑波大学名誉教授、世界知識人名鑑殿堂、合衆国文化協議会平和賞、瑞宝中綬賞

著書『演奏を科学する—人工知能が創る音楽創らない音楽』(ヤマハミュージックメディア)

横山 美恵 Yoshie YOKOYAMA (ピアノ)

武蔵野音楽大学器楽科ピアノ専攻卒業。松崎伶子、塚越淑子両氏に師事。結婚後、夫横山和彦(現東京学芸大学教授)と共にウィーンに留学、ワルター・モーア教授の薫陶を受ける。帰国後は子育て、後進指導の傍ら、夫和彦、娘和美の伴奏者として数多くの演奏会に出演。現在コールブリランテ伴奏者。

3 海老澤 里帆(フルート)

フルートソナタへ短調

短調は暗いと連想させるが、この曲は「暗い」ではなく「美しい」の方がはまる。確かに短調独特の暗さもあるが、それを打ち消す長調的ニュアンスが施されている。この時代のソナタは、通奏低音楽器とチェンバロが入るのが定義だが、今回はピアノ伴奏のみで演奏する。

テレマンはバロック時代の作曲家でドイツ生まれ。バッハ一家と親交を持ちつつ、フランス音楽様式などの作品を書いた。この時代の人にとって彼の曲は、バッハの技巧的とは違って旋律的で誰でも分かることをモットーに書いていたので人気があった。現在と人気の差が逆である理由として、技術が進歩した楽器で演奏するならば難曲を選択する人などが増えていき、いつしかバッハが躍り上がるようになったと私は考える。

海老澤 里帆 *Riho EBISAWA* (フルート)

東邦音楽大学卒業。門馬曜子、岩間丈正各氏に師事。演奏活動をする傍ら、音楽教室ウインズ・ユーのフルート講師をしている。

金子 裕子 *Yuko KANEKO* (ピアノ)

武蔵野音楽大学卒業。平戸信義、コッホ中村幸子、塩見洋子、丸谷芳美各氏に師事。ヤマハ音楽教室ピアノ講師

4 梁取 美智雄(バリトン)

鱒

1819年シューベルトが22歳の若々しい頃の名作。ドイツリートの一つで、ピアノ伴奏の独唱曲として人気の高い曲。作品中の第4楽章の歌曲D550の旋律が変奏曲で、「鱒」という副題が付いた。水の中に現れては消える鱒をモチーフにして作曲している。歌詞は、ずる賢い漁師が罟を使って魚を釣り上げるさまを歌ったもの。しかし実際は、「男はこのようにして女をたぶらかすので、若いお嬢さん気をつけなさい」という寓意である。

カミニート(小径)

1926年発表のタンゴの曲である。1903年に発表されたペニャローサの詩が、歌詞として付けられている。カミニートとは、小道のスペイン語で、「小径」としている文献もある。ブエノスアイレスのボカ地区の通りとするのが一般的だが、作詞家の故郷の小道だとする説もある。この曲は、「小径」での、若かりし頃の淡い2人の思い出が、なんとも愛らしく歌われています。



梁取 美智雄 *Michio YANADORI* (バリトン)

中学校時代はコーラス部員で県大会に出場、日立製作所中央研究所時代はコーラス部員で産業音楽祭に参加。30歳頃より音楽から遠ざかり、定年後に産総研に省エネ指導で入所し、コーラス部に入部しムジカフェスタに参加。10年前から声楽独唱を南みつ子先生に師事、水戸県民文化センターで声楽コンサートに8回、本ソロフェタには5回目の出場。声楽のほかクラシックギターを愛好し、ビラロボスの「前奏曲」の練習もしています。

門脇 郁香里 *Yukari KADOWAKI* (ピアノ)

国立音楽大学教育音楽科卒業。ピアノを田中はる子、原口歌子、バーバラ・マッケンジーの各氏に師事。ビクター音楽産業(ビクターレコード)本社にて、新譜案内書の作成に携わる。

5 加瀬 和子(ソプラノ)

加瀬 和子 *Kazuko KASE* (ソプラノ)

青森県下北半島に生まれる。臼井英男氏、鈴木義弘氏、大橋瑞枝氏、佐藤宏之氏に師事。2011年東日本大震災後、岩手、宮城両県の各地で、現地の合唱人と全国規模のコンサートに参加。小美玉市の4つの合唱団の指導・指揮を務める。茨城県民オペラ会員

小松澤 恭子 *Kyoko KOMATSUZAWA* (ピアノ)

上野学園大学ピアノ科卒業。県内外、スイス、ドイツにてリサイタル、コンサート、録音等に多数出演。ソロの他に管楽器や弦楽器とのアンサンブル、声楽やオペラの伴奏と幅広く活動している。

—ゲスト演奏—

6 佐藤 宏之(バリトン)

佐藤 宏之 *Hiroyuki SATO* (バリトン)

二期会会員 指揮者 芸術監督 武蔵野音大器楽科(ホルン専攻)卒業後、ブルガリア滞在中に声楽を指向。イタリア国立パルマ音楽院声楽科に現地合格。ミラノ・スカラ座トレーナー アンジェロ・ベルタッキ氏に師事。筑波大学医学部講師の橋口淳一氏監修のもと、佐藤式ベルカント発声法を開発。鹿児島、神戸、川崎市、茨城県農林部他で「佐藤式ベルカント発声の講習」などに招聘されている。(本年は、新潟県村上市、福島県福島市、茨城県竜ヶ崎市他)

佐藤功太郎氏に指揮法を師事。群馬交響楽団で指揮者修業。プラハ音楽祭にて指揮者デビュー。イタリアを本拠に欧州で18年間指揮者生活。東京ロイヤルフィルハーモニー管弦楽団常任指揮者。地元において、つくばフィルハーモニー合唱団代表・音楽監督(発売中のCD多数)。声楽グループ『魔法使いの弟子』を主宰、コンサート出演の場としている。阿見町・都内田端・福島『佐藤声楽 Studio』において声楽指導に当たっている。

水村 香代子 *Kayoko MIZUMURA* (ピアノ) (楽譜1)



第2部

7 岡野 雅代(ソプラノ)

岡野 雅代 *Masayo OKANO* (ソプラノ)

田村省平、柴田喜代子、森敏孝、故河野美年子、児井恵各氏に、現在は瀬山詠子氏に師事。東京・横浜・川崎・守谷など各地でリサイタル、チャリティコンサートを、また筑波メディカルセンター緩和ケア病棟での定期的な『小さな音楽会』をはじめ、神奈川県立がんセンターなど病院や老人施設でボランティアコンサートを開催。『音夢の会』を主催し、茨城県南・神奈川などで32回のコンサートを行う。スズキメソードピアノ科指導者、ヨーロッパ・スズキメソード協会認定 Suzuki Voice Teacher。活水女子短期大学音楽科卒。

横山 美恵 *Yoshie YOKOYAMA* (ピアノ) (楽譜2)

8 鈴木 勝英(バリトン)

秋の日

作曲者武子さんは小生の学生時代の先輩であり、現在、茨城県民オペラ協会の理事、複数の合唱団の指揮者そしてソリストとして活躍中です。この歌は学生時代に電車の中で初恋の人に再会した感激の中で、その場で書いてもらった詩に一夜で作曲したということです。誰にでも憶えのある若き日の心のさざ波、遠い遠い若き日を想いながら歌います。

麗しのアマリツリ

500年前頃にイタリアで作られた男性が女性を想う恋の歌です。その頃の日本は織田信長、秀吉、徳川家康を中心とした群雄割拠の時代ですね。5世紀も歌い継がれた恋の歌、71歳が歌います。

鈴木 勝英 *Katsuhide SUZUKI* (バリトン)

学窓を巣立って約40年の時を経て再開した「歌うこと」。それから早や11年。そして今日、(20)17年7月1日は小生71歳の誕生日。人生のなかで最も数字の偶然が重なった特別な日に、ノバホールで歌うことのできることに驚きと感謝の念をもって、若き日の想いを歌います。

佐藤 琴絵 *Kotoe SATO* (ピアノ)

臨床心理士。ピアノは趣味で弾いています。

9 細貝 知香(ソプラノ)

細貝 知香 *Tomoka HOSOGAI* (ソプラノ)

茨城県常陸大宮市生まれ。東海大学教養学部芸術学科音楽学課程卒業。東海大学チャレンジセンターMusic Art Project オペラ《夜叉ヶ池》に出演。声楽を近藤均、近藤ちあき、梶井龍太郎、佐藤宏之の各氏に師事。音楽の教諭として県内の中学校に勤務している。『魔法使いの弟子』会員

水村 香代子 *Kayoko Mizumura* (ピアノ) (☎1)

10 吉原 牧子(ヴァイオリン)

カルメン幻想曲

スペイン出身の鬼才ヴァイオリニストであり作曲家のサラサーテが、フランスの作曲家ビゼーのオペラ《カルメン》をパラフレーズし、ヴァイオリンの名技性誇示(笑)を目的として書かれた作品。

序曲 Allegro moderato

オペラ第4幕への間奏曲「アラゴネーズ」の素材を使用。

第1曲 Moderato



オペラ第一幕でカルメンが歌う「ハバネラ」が素材。ビゼーが、ハバネラはスペインの民族音楽であると誤解して流用した。半音階で下降するメロディが、恋の気まぐれさとぴったり？

第2曲 Lento assai (本日の演奏では割愛)

第一幕でカルメンが歌う鼻歌「トゥ・ラララ」のメロディ。

第3曲 Allegro moderato

第一幕でカルメンが歌う「セギディーリャ」のメロディが素材となっており、フラジオレットやトリル、グリッサンドなどが多用されている。

第4曲 Moderato

オペラ第二幕冒頭の「ジプシーの歌」が素材。原曲では2本のフルートがメロディを担当するが、この「カルメン幻想曲」では、ヴァイオリン1本で表現する。

スペインのセビリアのタバコ工場で働く、大変気まぐれながらも美しく、男性の視線を独占してしまうほど魅力的な女性、カルメン。この曲を演奏していると、「妖艶」という言葉が思い浮かびます。その妖艶さをどこまでヴァイオリンで表すことができるか…お楽しみいただけたら幸いです。



吉原 牧子 Makiko YOSIHARA (ヴァイオリン)

7歳よりヴァイオリンを始め、坂本真理、高鍋美世子、田久保由美、各氏に師事。聖徳大学音楽科卒業。音楽教室での指導、結婚式場、レストランでの演奏を中心に、学校や保育園への訪問、オーケストラ、室内楽、オペラなどの活動を続ける。「人は変わろうと決心さえすれば、何歳からでも変わることができる」「誰にでも無限の可能性がある」をモットーに日々進化、成長し続けるヴァイオリニストとして活動している。

大越 裕美 Hiromi OGOSHI (ピアノ)

聖徳大学短期大学部音楽科卒業。後藤富美雄氏、佐藤陽一氏に師事。元カワイ音楽教室講師。現在、カフェグランログスBGM演奏、保育園での演奏会、利根町ふれあいコンサート、みやぎきホスピタル訪問コンサートに出演。自宅教室にてピアノ講師をしている。

11 尾張 直美(メゾソプラノ)

尾張 直美 Naomi OWARI (メゾソプラノ)

2000年より、つくばフィル合唱団アルト所属。2004年より、佐藤宏之氏の個人レッスンを受ける。『魔法使いの弟子』会員。2016年には、龍ヶ崎でのボランティア行事、クリスマスコンサートに出演。大変幸せなことに、こどもたちからも熱狂的拍手をもらう。

水村 香代子 Kayoko MIZUMURA (ピアノ) <1>

12 志賀 真理恵(ソプラノ)

私が街を歩けば《ラ・ボエーム》

ムゼッタという魅力的で自由奔放な女性が、カフェで元恋人を見かけ、気を引こうとするシーン。「私が街を歩くと、みんな立ち止まって私を見つめるの…」で始まる情熱的で華やかなアリアです。

志賀 真理恵 Marie SHIGA (ソプラノ)

水戸第一高校、明治大学経営学部を卒業。大学時代は明治大学混声合唱団に所属。卒業後は佐藤宏之氏に師事。声楽グループ「魔法使いの弟子」所属。会社員生活の傍ら、趣味として音楽を続けています。歌は私の人生を彩る大切な存在です。今日も心を込めて歌います。

小松澤 恭子 Kyoko KOMATSUZAWA (ピアノ) (録音5)



第3部

13 伊藤 美由紀 — 大越 裕美(ピアノ連弾)

舞踏会の美女

1950年の作品です。どこかアメリカ的な感じのするお洒落な感じのワルツです。美女が優雅で上品にワルツを踊る様子を表しています。英語のタイトルの Belle は有名な美女と野獣の主人公のベルのことです。アメリカで Belle は最高の美女という形容詞にされているようです。

愛の悲しみ

フリッツ・クライスラーはウィーン出身の超絶技巧で知られた世界的ヴァイオリニストです。「愛の悲しみ」は短調で悲しげな気分を描いています。「愛の喜び」「愛の悲しみ」そして「美しきロスマリン」を加えて3部作ウィーン古典曲集とされています。

スペイン舞曲第1番

作者は1867年スペインのカディスで生まれた作曲家です。本作品は1905年王立アカデミーが主催したコンクールのオペラ部門グランプリを受賞した作品でグラナダを舞台にしたジプシー娘の愛と絶望を描いた作品で「スペイン舞曲第1番」は自らを裏切った男の婚礼の場面のフラメンコ風の華やかな中にジプシーの哀傷を描いた作品です。

伊藤 美由紀 Miyuki ITO (ピアノ)

上野学園大学音楽学部器楽学部ピアノ科卒業。千田千恵氏、萩原和子氏に師事。学内卒業演奏会、茨城県新人演奏会出演。元音感ピアノ教室講師。現在、カフェグランログス BGM 演奏、保育園での演奏会、利根町ふれあいコンサートに出演。自宅教室にてピアノ講師をしている

大越 裕美 Hiromi OKOSHI (ピアノ) (録音10)

14 位高 優(テノール)

シオンの娘よ、大いに喜べ

エルサレムの人々に救世主イエスの到来を告げる曲です。喜びの声を細かい音の連なりで表現しています。通例ソプラノが歌うアリアを今回はテノールでお送りします。

おまえは鉄のつえをもって

有名な「ハレルヤ」の前に歌われるテノールアリアです。イエスの教えを弾圧しようとする地上の王達に向けて、汝らは打ち砕かれようと天の神があざ笑います。

星は光りぬ《トスカ》

オペラのテノールアリアの中でも特に人気の高い名曲。仲間をかばったために拷問を受け、死刑を言い渡された主人公が、最後のわずかな時間を使い恋人に手紙をしたためます。恋人と過ごした幸せな夜を思い出しながら、死にゆく己の運命を激しく嘆く、二つの描写の対比が魅力です。

位高 優 Yu ITAKA (テノール)

埼玉県三郷市出身 28 歳。大学時代渡米して、Denison University 音楽学部声楽科を卒業。2013 年 3 月より佐藤宏之氏にイタリアンベルカント発声法を師事。佐藤氏主催の魔法使いの弟子コンサートや、佐藤氏が指揮を務めるつくばフィルハーモニー合唱団公演に出演。得意言語は英語。クラシック以外にもミュージカルやアカペラなど幅広く活動中。

水村 香代子 Kayoko MIZUMURA (ピアノ) 〈🎹1〉

15 沢木 美恵子(ソプラノ)

夢みたものは

1938 年、立原道造は恋人水戸部アサイと過ごす幸せな時間を一篇の詩に認めた。愛する喜びに世界は光り輝き、目に映るすべてが幸せに満ち溢れていた。「夢みたものは」目に浮かぶのは、日曜日の陽光溢れる青い空、陽を反射する白い日傘の娘たち、そして低い枝で、手が届くほどの近くでさえずる青い鳥…。願い、夢みていた「ひとつの幸福」「ひとつの愛」が、ここにあったのだと気づいたときの胸の高鳴り、その清らかな詩人の魂にふれると、ぼろりと涙が溢れます。きっと幸せは、近くにあって、近すぎて、見えないのかもしれないですね。

薔薇

小さな祈祷書の中に仕舞われた、秘密の思い出。涙と微笑みを同時に浮かべる女性の心の内は、彼女を見つめる男性にも覗きこむことはできない。だが、あくまでも甘く、繊細で、優しいトスティの音楽は、彼女にとってのその思い出が、決して悲しいだけのものではなかったことを我々に告げている。



さようなら故郷の家よ《ラ・フリー》

1892 年ミラノで初演された《ラ・フリー》の舞台は、1800 年頃のスイス、チロル地方。村の裕福な地主シュトロミンガーの娘フリーは、父から、ゲルナーと結婚するように言われるが、彼女はひそかに隣村の漁師バーゲンバッハに恋しているためその話を断る。第 1 幕で、怒った父に結婚か家を出ていくか迫られたフリーは、住み慣れた家を離れる決心をする。全曲中、最も有名なアリアである。

沢木 美恵子 *Mieko Sawaki* (ソプラノ)

茨城県結城郡出身。東邦音楽大学音楽学部声楽科卒業。卒業演奏会奨励賞。声楽を鈴木義弘、鈴木優、佐々木康普各氏に師事。公立中学校音楽科講師。つくばウエストシンフォニア青少年オーケストラと4年連続共演。筑西市主催合同音楽会ソロ7年連続出演。第九を歌おう、クリスマスミニコンサート、つくば市文化祭音楽会ソロ出演。自主企画によるクリスマスコンサート5年連続出演。地域のクラシック音楽家との交流を推進し演奏会参加、企画運営を数多く行う。現在、自宅にて音楽教室を開設。坂東市音楽家バンク、森友会会員

中山 修伍 *Shugo NAKAYAMA* (ピアノ)

5歳よりピアノを始める。第18回ピアノコンクールミリオン2004優秀賞。第3回演奏表現活動助成のためのオーディションにてオーディション審査委員長賞。2013年、2016年徳島文理大学インターナショナル夏期講習会にて、ペーター・エフラー氏に学ぶ。ピアノを上仲典子、三浦実、安田正明、星子知美、室内楽を矢部達哉、松崎裕、大河内雅彦、ソルフェージュを深谷裕子の各氏に師事。現在、上野学園大学音楽学部音楽学科演奏家コース4年次、特待生として在学中。



16 橋本 拳暁(バリトン)

彼女は私を愛したことがない《ドン・カルロ》

第三幕第一場 マドリードにある国王の執務室。国王フィリップは、書類が無造作に積まれた机にもたれ瞑想にふけっている。机の上の燭台の蝋燭は消えかけ、夜明けの陽光がうっすらと窓ガラスを明るくしている。16世紀中期のスペイン、皇太子妃となるはずであったフランス国王の娘であるエリザベッタを王妃としたフィリップ。しかし、息子であるカルロに裏切られ、自分に対する王妃の心は閉じていると感じる。王として生きることの困難を憂い歌う。

橋本 拳暁 *Takaaki HASHIMOTO* (バリトン)

茨城県新治村(現土浦市)出身。県立土浦第二高校では合唱部に所属しバスパートを担当。千葉工業大学工学部卒業。2015年7月より声楽を佐藤宏之氏に師事。『魔法使いの弟子』コンサートでは、オペラ《魔笛》より「この神聖な殿堂には」、《フィガロの結婚》より「もう飛ぶまいぞ、このちょうちょう」などを歌う。好きな歌手はエットレ・バステリアニーニ。

水村 香代子 *Kayoko Mizumura* (ピアノ) (☞1)

17 小松崎 裕子(メゾソプラノ)

むごい運命《ドン・カルロ》

16世紀のスペイン宮廷を舞台に、スペイン王子ドン・カルロと取り巻く人々の愛と政治を巡る葛藤を描いた作品。カルロはフランス王女エリザベッタと愛し合い婚約するも、エリザベッタはスペイン王子フィリップ2世(カルロの父)と政略結婚する。王妃エリザベッタの女官エボリ公女は、カルロを密かに愛していたが、彼がまたエリザベッタを忘れられないことを知り激しく嫉妬する。そこで2人をフィリップ2世の怒りに触れさせるよう罠を仕組む。エボリ公女のアリア「むごい運命」は、事の大きさに気づき良心の呵責を感

じたエボリが、エリザベッタに罪を告白し、カルロの命を救うことで罪を償おうとする心の動きを歌っている曲。

亡くなった母を《アンドレア・シェニエ》

18世紀革命前後のフランスを舞台に、詩人アンドレア・シェニエの半生を描いた作品。シェニエは革命に共鳴するも穏健派であり、急進派が主流だった革命政府に追われる。同じくして、貴族の娘であるマッダレーナは革命の民衆から命を狙われる。あまりに辛く死んでしまおうと思っても、「生きなさい」と励ましてくれるシェニエに出会う。マッダレーナの aria「亡くなった母を」は、死のうと思った自分を助けたシェニエを、今度は私が救うのだ、そのためなら何でもするという覚悟を歌っている。前半の淡々とした告白から一変、途中から「もう一度生きなさい」とシェニエが語っていた言葉がマッダレーナの言葉となって行く。

小松崎 裕子 Yuko KOMATSUZAKI (メゾソプラノ)

茨城県立水戸第三高等学校音楽科卒業。東京音楽大学音楽学部教育専攻卒業。大学卒業演奏会を声楽にて選抜出演。声楽を野村陽子氏、佐藤宏之氏に師事。モーツァルト作曲オペラ「魔笛」クナーベ役でオペラデビュー。ハイドン作曲オラトリオ「天地創造」アルトソリストを務める。「魔法使いの弟子」会員。ムジカサンタンジェロ第15回フレッシュアーティスト・コンクール声楽部門第4位入賞。メゾ・ソプラノからソプラノまで幅広い曲を歌い、レパートリーを増やしている。

水村 香代子 Kayoko Mizumura (ピアノ) (🎹1)

18 池田 由紀子(ソプラノ)

このように、ただ一日のうちに ～ 私はわが運命を嘆くでしょう

《ジュリオ・チェザーレ(ジュリアス・シーザー)》

この歌劇はヘンデルによって1723年、ロンドンにて作曲された(hwv17)。紀元前1世紀、ジュリアス・シーザーはかつての友ポンペオと戦うが、ポンペオはエジプトのトロメオ王を頼り敗走。追いかけてエジプトに上陸すると、トロメオ王に迎えられ、贈り物として差し出された物は、ポンペオの首であった。その妻コルネリアと息子セストは復讐を誓い、シーザーもトロメオ王と戦うこととなる。トロメオ王の姉のクレオパトラは美貌にものを言わせ、シーザーの心をとりにし、エジプトの王位を窺う。しかし、シーザーは殺されたとの報が伝えられる。クレオパトラもトロメオ軍と戦うが破れ、捕らえられ、絶望に瀕する。



嵐の海で難破した小舟は 《ジュリオ・チェザーレ》

その時シーザーが九死に一生を得て、クレオパトラを救出、エジプトを征服し、クレオパトラをエジプトの女王とし、喜びのうちに幕が閉じられる。

池田 由紀子 Yukiko IKEDA (ソプラノ)

声楽を星洋二氏、濱田千枝子氏に師事。茨城県芸術祭県民コンサートに数回出演。2010年には特賞受賞、2011年には賛助出演。2009年に国際芸術連盟主催の第6回東京声楽コンクールにて3位入

賞、同年 8 月同連盟主催の『エクセレントステージ in Tokyou』に出演。2015 年度東京音楽大学大学院
科目履修生。2016 年 10 月、水戸芸術館にて『茨城の名手名歌手たちコンサート』に出演。

門脇 郁香里 Yukari KADOWAKI (ピアノ) 〈☞4〉



—ゲスト演奏— 19 佐藤 宏之(バリトン)

佐藤 宏之 Hiroyuki SATO (バリトン) 〈☞6〉

水村 香代子 Kayoko Mizumura (ピアノ) 〈☞1〉



ソロフェスタとつくばソロ連絡会について

ソロフェスタ(2013 年第 1 回)とつくばソロ連絡会(2010 年に前身が結成された非営利組織)の沿革や
詳細と参加お申込み方法については、[ホームページ](#)をご覧ください。

ホームページは、「ソロフェスタ」または「ソロ連絡会」で検索すれば、google の場合には最初に出て
来ます。ウィルス検査の認証が出ないことがありますが、現在までのところ感染していません。その親ペ
ージである本会の姉妹団体のつくば音楽団体交流協議会(1993 年発足)のホームページの URL アド
レスは、<http://www.musicafesta.com/>(便宜上 http://を付けて記載)で、これを直接打ち込めば、その
"Home" が開き、そこにあるリンクをクリックすることで、上記の各ページに行くことも出来ます。

ソロフェスタは先発のムジカフェスタ(上記ホームページ参照)同様、1975 年から 1992 年まで、研究
学園都市の大学と地域住民との文化的交流、まちづくり、文化発信に寄与するため、筑波大学大会館
で大学の予算を用いて 50 回に亘って開催された学園都市音楽会を、理念的にも内容的にも承継し
ています。音楽の技量はさまざまであるにせよ、アマチュアとプロの区別にこだわらないのも、その理念
に基づいています。ソロフェスタのご出場は、この理念に沿って、プロ(音大卒業者)とアマチュアの区別
なく、クラシック音楽を正式に学ばれた方であれば、居住地がどこでも歓迎しておりますから、奮ってご
参加くださいますように。これまでも茨城県にかぎらず、神奈川県、埼玉県、千葉県から優秀な方が参加
されて来ました。

つくばソロ連絡会会員と準会員には、趣旨に賛同される方に会員の推薦によってなって頂いており、
ご本人が出演なさらないソロフェスタにも、継続的にご協力頂いております。現在のところ入会金や年会
費等はありません。

つくばソロ連絡会の連絡・お問い合わせ先は

代表者: 五十嵐 滋(筑波大学名誉教授・瑞宝中綬賞)

homer525@hotmail.co.jp

電話: 029-851-5616 FAX: 029-856-4185

〒305-0045 つくば市梅園 2-14-21

事務局: 堀部 一寿 (ピアツァ・アルテ主宰) horibe3721@gmail.com



〒305-0005 つくば市天久保 3-6-6

i

<http://www.musicafesta.com/%E3%82%BD%E3%83%AD%E3%83%95%E3%82%A7%E3%82%B9%E3%82%BF>